

埼玉県総合リハビリテーションセンターだより

<今月の内容>

- オンラインセミナーはじめました…… 1
- リハビリテーションテーマ別研修…… 2
- 高次脳機能障害者を地域で支える…… 3
- 認定健康増進施設の満足度調査 …… 4



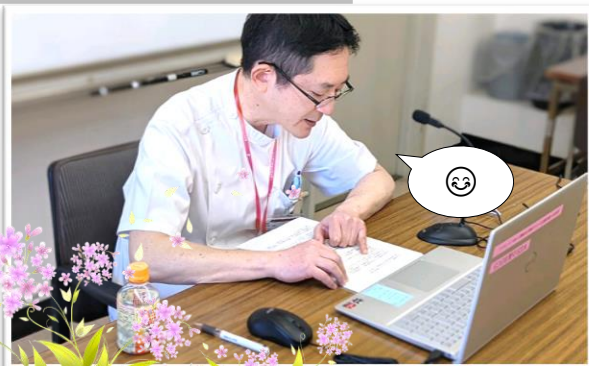
発行：埼玉県総合リハビリテーションセンター
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚148-1
TEL 048-781-2222

オンラインセミナーはじめました

令和3年度も昨年度に引き続き、感染症の猛威に晒される1年となりました。感染を防止しながら、センターの取組や医療、福祉について少しでも知ってもらえるよう、**ZOOM**を利用して、オンラインでのセミナーの開催を始めました。

受講場所の制約がないので、参加しやすくなっています。

今回は、そんなオンラインセミナーの**魅力や今後の予定**を紹介します。



毎月1回、30分程度のセミナーで、当センターの医師等が講師となり、さまざまなテーマについて講義を行います。これまでに、5回開催しており、たくさんの方に参加していただきました。

このセミナーの最大の魅力は、**医師等の講師と直接コミュニケーションができる**ことです。セミナーに参加すれば、普段はあまりお話しする機会がない医師等の講師に直接質問し、疑問を解消することができます。

福祉施設職員、医療従事者、患者様ご家族、リピーターの方も少しずつ増えており、嬉しい限りです。今後も**皆さまの役に立つ**セミナーを開催していきたく思います😊ぜひ、1度参加してみてくださいね！

【開催実績】

テーマ名	開催日
神経難病包括的リハビリテーション入院 入院リハビリで生活の向上	11月25日
パーキンソン病に対する 脳深部刺激療法 (DBS)	12月9日
壮年期の脳卒中リハビリテーション ～発症から復職まで～	1月13日
脳卒中後の尖足に対する手術治療	2月17日
進行期パーキンソン病に対するデバイス補助療法 ～レボドパ/カルビドパ (LCIG) を中心に～	3月16日

【次回予告】

4月に当センターリハビリテーション科
今井 由里恵先生のセミナーを
予定しております。

詳細が決定次第、センターホームページ
トップの新着情報に掲載いたします。



(センターだより)



(センターホームページ)



センター主催 リハビリテーションテーマ別研修

令和3年度のセンター主催研修が、12月末で無事に終了しました。今年度は、感染防止を目的として、すべての研修を、県公式YouTubeチャンネルで、動画配信形式にて開催しました！

テーマ	配信期間	申込者数	再生回数	テーマ	配信期間	申込者数	再生回数
障害の理解とリハビリテーション 総論編	7月29日 ～ 8月25日	408名	3,391回	障害のある方のための口腔ケア	11月4日 ～ 12月1日	454名	1,112回
障害の理解とリハビリテーション 脳血管障害編	8月26日 ～ 9月22日	241名	1,410回	障害のある方のための健康づくり 講座 肥満対策編	10月7日 ～ 11月3日	486名	1,456回
障害の理解とリハビリテーション 脊髄損傷編	9月22日 ～ 10月19日	247名	947回	障害のある方のための健康づくり 講座 スポーツ施設編	11月18日 ～ 12月15日	117名	910回
障害の理解とリハビリテーション 神経難病編	11月26日 ～ 12月23日	239名	646回	障害のある方のための福祉用具の 有効活用 肢体不自由、視覚障害 者関連	10月21日 ～ 11月17日	290名	1,451回
障害の理解とリハビリテーション 高次脳機能障害編	8月12日 ～ 9月8日	317名	2,565回	高次脳機能障害者の暮らしを支え るために 高齢者編	9月9日 ～ 10月6日	490名	1,269回



↑ 録音に奮闘する講師

【講師の感想】

初めてのオンラインでの講義でした。分からないことも多く、資料作成に戸惑うこともありました。

場所や時間の制約がないため、例年より**大変多くの方に参加いただけた点**は**とても良かった**と思います。

デメリットは、受講者の方の理解度等が分かりにくい点です。

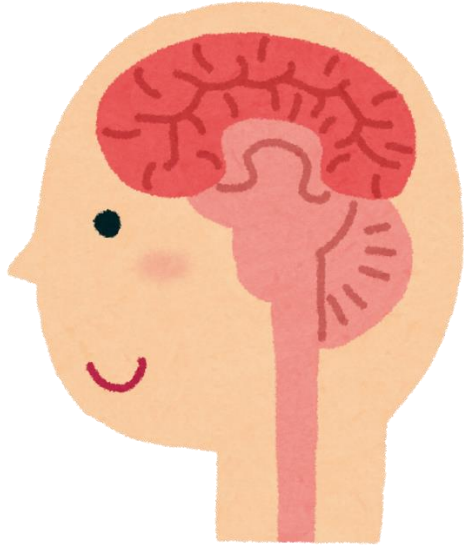
オンラインでも、分かりやすい講義ができるよう、工夫を続けたいと思います。



【参加者の声】 ※受講後アンケートより抜粋

- ・ 埼玉県総合リハビリテーションセンターの内容が理解出来て良かったと思います。若い、脳梗塞の疾患を持っている利用者を担当しているが、就労や施設利用についてお伝えしてみようかと思いました。時間としてはとても長いかと思いましたが、それぞれとても有意義なものでした。
- ・ 神経難病の嚥下障害については**実際の支援で活かせる具体的な内容**でした。当方が担当する方は、知的障害、身体障害で神経難病をかかえる方はいません。それでも、嚥下に関しては、十分気をつけて活動しています。この講義を見させていただいて、**より具体的な支援の方法がわかりました。**

高次脳機能障害者を地域で支える ～コロナ禍を乗り越える～



埼玉県高次脳機能障害者支援センター（以下支援センター）は、高次脳機能障害を抱えたご本人、ご家族、関係機関への包括的な支援と相談体制の充実を目指し、様々な相談支援や事業展開に取り組んでいます。当支援センターに寄せられる相談は、ご本人やご家族のみならず地域の関係機関からも多く、「どう支援したらいいのか」「どんなサービスが使えるのか」などの困りごとに対して、依頼に応じて地域に出向いたり、身近な地域での支援の充実が図れるよう連携に努めてまいりました。

★高次脳機能障害に関する総合相談窓口

埼玉県高次脳機能障害者支援センター
048-781-2236 (相談専用)
医療法人真正会 霞ヶ関南病院
049-232-1313 (代表)
医療法人光仁会 春日部厚生病院
080-8181-4148 (相談専用)

※いずれも相談受付 平日9時～17時

【コロナ禍に対応した研修事業】

一方、長引くコロナ禍の影響により、地域支援者との協働や、研修の機会も大幅に縮小せざるを得なくなりました。そこで当支援センターでは、令和2年度からオンライン研修を積極的に展開してまいりました。「高次脳機能障害とはいったいどんな障害なのか」といった基礎的な内容から、「高次脳機能障害と認知症との違いについて」など、地域の支援者の要望に応じた形のテーマ設定も試みました。

【オンライン研修の反響】

今年度は、地域での支援充実を図るため「高次脳機能障害者支援地域展開委託事業」の委託先である霞ヶ関南病院（川崎市）と春日部厚生病院（春日部市）と協力し、「今あらためて高次脳機能障害を学ぶ」という研修動画を作成しました。公開2カ月で、申込者は359人となり、

- 内容を繰り返し視聴が出来ていい
- 普段の業務に活かせる内容だった
- 集合形式の研修では中々時間が取れなかったが、オンラインは参加しやすい

といった感想を多く頂戴しました。

【今後の普及啓発について】

高次脳機能障害は「見えない障害」とも言われ、その症状や特性は一人ひとり違います。障害についての知識や理解を深めることは、大切な支援の第一歩であり、高次脳機能障害を持った方が、住み慣れた地域で安心して困りごとを相談できること、適切な医療やサービスを受けられることが、当支援センターが目指す地域の在り方です。試行錯誤ではありますが、オンライン研修をはじめ、コロナ禍に対応した事業展開など様々なニーズに応えられるよう工夫していきたいと考えます。

（埼玉県高次脳機能障害者支援センター）



認定健康増進施設の満足度調査を実施しました

認定健康増進施設では、サービス向上を図るため、ご利用者を対象に満足度調査を実施しました。3年ごとに実施している本調査では、設備やサービス、料金、イベントなどについて、多くの貴重なご意見をいただいています。新型コロナウイルス感染症の流行により、さまざまな我慢を強いられることもあります。今後ご利用者からご満足いただける健康増進施設をめざしてまいります。

【調査期間】令和3年7月5日～30日

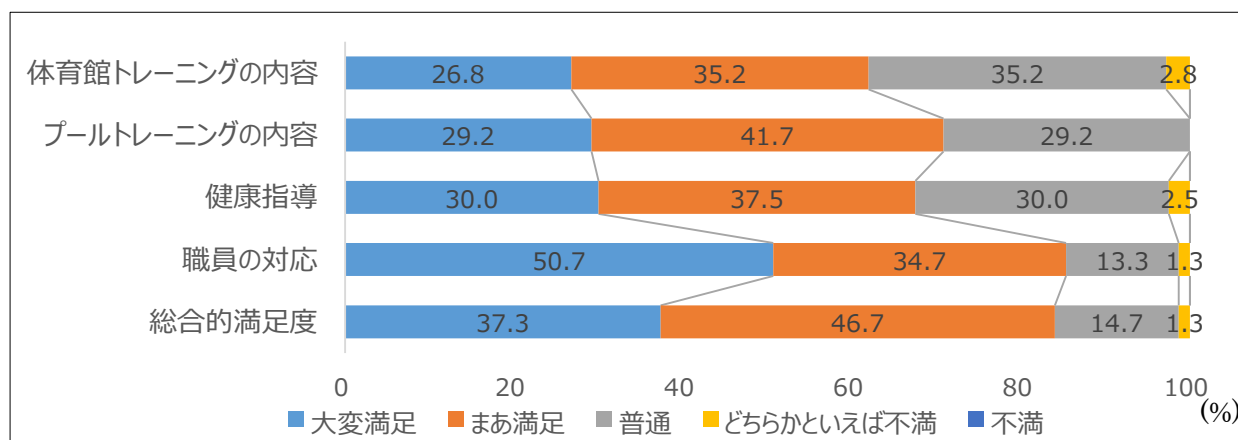
【対象者】在籍者147名中、調査期間中に来館した利用者92名

【回答結果】回答者76名（回収率82.6%）

【結果概要】前回の調査（平成30年度）と比較すると、「たいへん満足」「まあ満足」の割合が、**体育館トイレ**（34%→74%）や**プールトイレ**（18%→46%）、**トレーニングマシン**（67%→78%）で向上。これは、昨年度行われたトイレ改修や、トレーニングマシンの更新が影響していると考えられます。一方で、ボールやラケットなどの**トレーニング用具**（58%→52%）については満足度が低下。今後、古くなった物の更新など、可能な限り対応していく方針です。サービスに関する満足度は下図の通りです。



サービス内容についての満足度



※ 調査結果については、ホームページにも掲載しています。

運動を始めてみませんか？

厚生労働大臣認定健康増進施設では、障害のある方を対象にトレーニング指導を行っております。体育指導員が、スポーツの要素を取り入れながら、あなたに合った体づくりをご提案します。「リハビリが終了して、運動を継続したいけど、どうしたらよいか分からない」という方も多くご利用しています。

利用希望の方は、まずお電話でご相談ください。

